

海外安全対策情報

1 治安情勢

- (1) グアナファト州の2017年度第4四半期(2018年1月～3月)の殺人件数は552件と前期比で約79.2%増加しており、同期においては全国で1位となる等、前期に引き続き、グアナファト史上、最悪な数字となっている。
- (2) 前期に引き続き、警察署及び警察官が襲撃・発砲を受ける事件が複数発生しており、具体的には1月19日、イラプアト市の市警察長官が帰宅中武装集団に襲われ、運転手含め死亡する事件が発生、1月22日には、19時頃アパセオ・エル・アルト市内にある検察庁前のピピラ通りを警察官が巡回中、武装した男達に発砲され死亡する事件が発生、その他にも、イラプアト市、セラヤ市、バジェデサンティアゴ市でも警察官や検察官が銃で撃たれ、死亡や負傷する事件が発生した。
- (3) 1月30日、グアナファト州では治安の悪化を受け、軍警察 1500 人を投入し、対応にあたっている。

2 グアナファト州一般犯罪の傾向

グアナファト州においては、第4四半期(1月～3月)の総犯罪発生件数は31,979件と、前期(10月～12月)と比較して約5.7%増加した。犯罪種別の内訳は以下の通り。

ア 窃盗	7,422件(前期比	1.7%減)
イ 殺人	552件(前期比	79.2%増)
ウ 強盗	3,080件(前期比	10.2%増)
エ 強姦	107件(前期比	1.5%増)
オ 誘拐	0件(前期比	増減無)

3 安全に関わる諸問題及び対応策

- (1) グアナファト州内では、麻薬に関係する犯罪組織の抗争が激しくなっており、これら組織が関連した発砲・銃撃事件及び殺人事件、警察官を直接狙った銃撃事件も発生しているため、それら事件に巻き込まれないためにも、夜間の外出やバー、ディスコ等の出入りについて極力避けると共に、夜間を問わず一般市民が利用する公共の場所でも、事件が発生しうることを想定する必要がある。
- (2) また、凶器を利用した強盗も増加しており、事件に巻き込まれないためにも、関係する日本人職員への継続した安全教育が必要である。
- (3) 前期に引き続き、コンビニエンスストアやマーケット等の駐車場における車上荒らしが、引き続き多発しており、車両を離れる際の貴重品の放置に注意が必要である。
- (4) 銀行で現金を引き出した後に、つけられ強奪される事件も頻繁に発生しており注意が必要である。
- (5) さらに、高級住宅地(ポルトン・カナダ、クンブレス・デル・カンペストレ、ハルディネス・デル・カンペストレ、ソベルナ)における空き巣集団による犯罪が発生しており、これらの犯罪集団は入りロゲートのタグをクローン化し、住民のふりをして高級車で侵入しているため、例えばセキュリティの厳しい高級住宅地であっても、油断は禁物であると考えられる。(了)